

第3学年 「広がれ生き物ワールド」(絵に表す) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、想像した生き物を紙版に表し、刷りあがった版紙を切り取って台紙にはる。そして、その生き物の住む世界を想像して貼ったり描いたりして楽しむことをねらいしている。

目標

- 表したい生きものやその世界を想像しながら版をつくったり、描いたりすることを楽しむことができる
- 表す生き物の形や使う材料、画面構成などを、いろいろ試しながら考えることができる。
- 想像した生き物の形や材料の生かし方、まわりに表し方の工夫などのよさを見つけることができる。

表現内容

- **何を**：想像した生き物やその想世界を
- **何で**：【主材料】白表紙、身边材
【造形要素】
 - ・凹凸の形を写しとる楽しさ・インクの色との組み合わせ
 - ・画面構成
- **どのようにして**：
 - ・お話からイメージをふくらませて
 - ・表したい生き物の形や色、版に生かしたい材料を考えながら
 - ・刷りを友達と協力して
 - ・画面構成を考えて版の位置や向きなどをいろいろ試しながら
 - ・場面のイメージを表す色や技法などの表し方を考えて

子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちの「だんボールのへんしん」で見た以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

◀ 子どもの実態 ▶

- ・段ボールの「ちぎったり、切ったり、はがしたりできる」材料としてのよさを感じる事ができた。
- ・ちぎった段ボールの形を見立て、想像をふくらませて表したいものを決める事ができた。また、思いに合わせて形や色、材料の生かし方を工夫する子どもが見られた。しかし、材料を準備しているにもかかわらず、うまく活用できない子どもも見られた。
- ・段ボールを思いに合わせてちぎったり切ったりする事ができたが、色のつけ方が雑になったり、材料が段ボールに十分に接着できなかったりする子どもがいた。
- ・自他の思いをもとにしながら形や材料の生かし方のよさや課題を見つける事ができた。

感性

思考力

表現力

評価力

◀ つきたい力 ▶

- a 紙や身近な材料を使って紙版をつくり、それを刷ることによってできる形や材料が出す表情の面白さを感じる
- b お話からうかんだ生き物やそれが住む世界を想像する。
- c 思いに合わせて形や材料を工夫して版をつくる。
- d 刷った版の位置や向きを試しながら画面構成を工夫する。
- e 思いに合わせて版の周りの表し方を工夫する。
- f 思い通りに材料を切斷したり、しっかり接着したりする。
- h インクの量やローラーの動かしかた、ばれんの使い方に気をつけて刷る。
- g 画面のイメージに合わせて色で表したり、描いたりする。
- i 活動を振り返り、自分のよさや課題に気付く
- j 自他の表し方の共通点や違い、色や形、材料の活かし方などの表現のよさ、活動のよさを見つけ伝え合うことができる。

4つの力を働かせ、認知する活動や手立て

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆ 教えること	㊟ 探求活動	㊟ 交流活動	㊟ 振り返り活動	共感的価値付け
<ul style="list-style-type: none"> ・紙版画の手順 ・材料による接着剤の選び方や接着の仕方 ・刷り方（インクの量やローラー、ばれんの使い方） ・画面構成の効果 ・鑑賞と振り返りの視点 ・周りの表し方の技法（タンポ、スパッタリング、シヤボン玉絵の具、ローラー） 	<ul style="list-style-type: none"> a 参考作品との出会い b お話づくり b 言葉のスケッチやアイデアスケッチ c 生き物の資料（図鑑等） c 材料の試し刷り d 版による画面構成の活動提案 e 周りの表し方の資料コーナー、試しのコーナー 	<ul style="list-style-type: none"> i j 2組で協力しながら行う刷り i j 表現や活動のよさを見つける段階ごとの班交流や全体交流 i j 制作途中の作品展示 i j 鑑賞会でのいいねカードを使ったいいところ見つけ 	<ul style="list-style-type: none"> i 1回目の刷りのあとの見直し i 4つの力の自己評価 i 視点を示した心メモ i 写真による表現の振り返り i 鑑賞会後の自分の活動の振り返り e 表現の途中での鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・見取りたい子どもの姿の設定 ・見取り表の作成 ・聞き取り ・言葉掛け ・コメント書き ・聞き取り ・まとめの価値付け

2 指導計画 (9時間)

◆教えること ㊦探求活動 ㊧交流活動 ㊨振り返り活動

配時	発想・構想 ①②③ (本時3/9)	表現1 ④⑤	表現2 ⑥⑦⑧ (本時6/9)	鑑賞 ⑨
学習活動	1 自分の思いや表現の見通しをもち、アイデアスケッチをしたり文章に表したりする。	2 思いに合わせて材料を切ったり貼りつけたりして版をつくり、刷る。	3 画面構成を考えながら版を貼り、その周りの表現を工夫する。	4 「生きものワールド」鑑賞会を行い、表現のよさを話し合う。
見取りたい子どもの姿の例	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の材料の生かし方や色や形の面白さに気付き、伝える。 想像をふくらませながらアイデアスケッチをしたり文に表したりする。 図鑑などで生きものの形や、住む世界のイメージを確かにながらアイデアスケッチを描く。 自分の思いに合わせて版に使う材料を集める。 集めた材料を友達と見せ合いながら、材料に触れ、そのよさや面白さについて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 試しの活動を想起したり、資料コーナーを参考にして、思いにあわせた材料を考えたりする。 アイデアスケッチや図鑑などを見ながらパーツの形を切ったり、それらを組み合わせたりしながら思いに合わせて版をつくる。 材料に合わせて接着剤を選び、接着する。 用具の使い方に気をつけながら、友達と協力して刷る。 1回目の刷り課題から、2回目の刷りを工夫する。 自他の刷りのよさを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 表したい思いに合わせて表現の見通しをもち、アイデアスケッチに書き込む。 いろいろ試しながら、思いに合わせて画面構成を考える。 資料コーナーを見たり、試したりしながら周りの表し方を工夫する。 想像をふくらませながら、描き加える。 友達の表現のよさを見つけ、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 色や形、材料の生かし方による違いや面白さに気付く。 自分や友達の表し方の違いやよさをとらえて言葉で伝えたり、いいねカードに書いたりする。 自分について力や取り組んできた姿勢についてよさを振り返りノートに書く。
力を働かせたい子どもの姿の例	<ul style="list-style-type: none"> ◆紙版画の手順 ◆刷り方 (インクの量やローラー、ばれんの使い方) ㊦参考作品との出会い ㊧お話づくり ㊨言葉のスケッチやアイデアスケッチ ㊩生き物の資料 (図鑑など) ㊪材料の試し刷 	<ul style="list-style-type: none"> ◆材料による接着剤の選び方や接着の仕方 ㊦材料による刷り効果の違いの資料 ㊧表現の途中での鑑賞 ㊨2組で協力しながら行う刷り ㊩1回目の刷りのあとの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦画面構成の活動提案 ◆画面の雰囲気を表す技法 (タンポ、スパッタリング、シャボン玉絵の具、ローラー) ㊦周りの表し方の資料、試しのコーナー ㊧表現の途中での鑑賞 ㊨表現や活動のよさを見つける段階ごとの班交流や全体交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆鑑賞の視点 ◆振り返りの視点 ㊧鑑賞会でのいいねカードを使いたいところを見つけ ㊨4つの力の自己評価 ㊩振り返る視点を示した心メモ ㊪写真による表現の振り返り
学習活動と内容	<p>(1) 参考作品を見て学習の見通しをもつ ○いろいろな材料を生かした紙版で表すことに 関心をもつこと (感)</p> <p>(2) どんな生き物ワールドにするか言葉のスケッチをしたりアイデアスケッチに表したりする。 ○生き物ワールドのイメージをふくらませること (思)</p> <p>(3) 振り返りノートを書く。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p> <p>(4) いろいろな材料を版に表して試す。 ○試しながら材料のよさや面白さを感じることに (表・感)</p>	<p>(1) 思いに合わせて版をつくる。 ○思いに合わせて材料を選ぶこと (思) ○思いに合わせて形を考えながら切ったり組み合わせたり、貼ったりして版をつくること (表)</p> <p>(2) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。</p> <p>(3) 版を刷る。 ○インクの量やローラー、ばれんの使い方に気をつけて刷ること (表) ○友達と協力して刷り、お互いの表現のよさや課題に気付くこと (感)</p> <p>(5) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>	<p>(1) 画面構成を考えて刷った生き物を切り取って貼る。 ○思いに合わせて生き物の位置や向きを試しながら考えて貼ること (思・表)</p> <p>(2) 思いに合わせて、版の周りの表現を工夫する。 ○画面の様子や雰囲気に合うような表し方を工夫すること (思・表)</p> <p>(3) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>	<p>(1) 生きものワールド鑑賞会をする。 ○友達の作品のよさや面白さを味わう。 (感) ○いいねカードを書いて、班や全体でよさや面白さを伝え合うこと (感)</p> <p>(2) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>

3 / 9時間

第3学年 本時図画工作科学習指導案

6 展開

3 本時目標

○試しながら、思いに合う材料を見つけ版をつくる計画を立てる。

○自他の表現のよさや課題に気付き、伝え合うことができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、友達と協力して試し刷りをし、どの材料をどんなふうにするか考えることができるであろう。

㊦ 試し刷りの手順の演示

㊦ 協力や交流ができるような試し刷りの場の設定

㊦ ㊦ 自他の表現のよさや気付きや価値を共有するための場の設定

5 準備

子ども… 図工ノート、振り返りノート、アイデアスケッチ、版にする材料（レース、プチプチマット、段ボールなど）

教師… 試し刷りの仕方の活動提案の資料、ローラー、インク、ばれん、試し刷りの版画紙

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時までの活動を振り返り本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>試しながら、思いに合うざいりょうを見つけ、はんをつくる計画を立てよう。</p> </div> <p>2 版にする材料の試し刷りをする。</p> <p>○ 試し刷りの手順を知ること。 (思)</p> <p>○ インクの量やローラーの使い方に気をつけて刷ること (思・表)</p> <p>○ どの材料をどのように使うか考えながら刷ること (思・表)</p> <p>○ 友達と協力して刷りお互いの表現のよさや課題に気付くこと (評・感)</p> <p>3 試し刷りをして見つけた材料を使い、どの材料を使って版をつくるか計画を立てる。</p> <p>○ どの材料を選び、版づくりをするかアイデアスケッチに書きこむこと</p> <p>4 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。</p> <p>○ 自分のよさや課題に気付くこと (評)</p> <p>5 友達と交流し、次時の活動の見通しをもつ。</p> <p>○ 友達のよさに気付き、次時の活動に生かすこと (評)</p> <p>○ 本時の気付きや学びを確かめること (評)</p>	<p>㊦ 図工ノートを見て、自分が表したいものを確かめる。</p> <p>㊦ 自分が版にしたいものをイメージしながら試し刷りをする。</p> <p>◆ インクの出し方</p> <p>◆ ローラーの使い方は、前方でローラーを浮かして手前に戻しまた転がすこと</p> <p>◆ ばれんの持ち方は、結びこ指をつけ親指を外に見せてしっかり持ち、円を描くようにこすること</p> <p>◆ インク出しから乾燥させるまでの手順</p> <p>㊦ 刷り上がった版画紙を掲示し、材料による刷りの効果が共有できるようにする。</p> <p>㊦ ㊦ 活動を振り返り、自分や友達の作品のよさを見付けることで、次時の活動へのめあてや見通しがもてるようにする。</p> <p>◆ 材料によって違う刷りの効果を生かして版をつくとよいこと</p>	<p>・ 前時につかんだ自分の課題を想起し、今日の活動の見通しをもっている。</p> <p>・ 教師の演示を見て、手順よく試し刷りをしている。</p> <p>・ 自分の思いに合わせてもってきた材料を試し刷りしている。</p> <p>・ 持ってきた材料を自分の版のどの部分に使うか考えながら試し刷りをしている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>このレースは、鳥の羽の模様に使えそうだな。</p> </div> <p>・ 持ってきた材料を自分の版のどの部分に使うかアイデアスケッチに書き込んでいる。</p> <p>・ うまくいったところや、工夫したことなどを振り返りノートに書き込んでいる。</p> <p>・ 計画を立てたことを発表している。</p> <p>・ 友達の作品を見て、自分の表現に生かそうとしている。</p>



第3学年 本時図画工作科学習指導案

3 本時目標

- 自分の思いに合わせて、画面構成を考えながら、刷り上がった版紙の周りを切ったもの(以下版紙という)を貼ったり周りの表し方を工夫したりすることができる。
- 自他の表現のよさ、課題に気付き、伝え合うことができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、子どもたちは版画の世界の想像を広げ、表現を楽しむことができるだろう。

- ㊦試しながら行う画面構成の活動
- ㊦周りの表し方を工夫するための資料コーナーや試しのコーナー
- ㊦表現の途中での鑑賞
自他の表現活動のよさや気付きを共有するための全体交流

5 準備

子ども…振り返りノート、のり、パス、
絵の具道具、生き物を印刷した版紙
教師…画面構成の工夫の活動提案の資料
見取り表、スパッタリング・タンポ・
ローラー・シャボン玉絵の具の材料や
用具

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分が考えた生き物ワールドになるように、はんしのはり方やまわりの表し方をくふうしよう。</p> </div> <p>2 台紙に版紙をどう置くかを決め、さらに周りの表し方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が表したい場面になるように試みながら画面構成を工夫し、版紙を台紙にはること。(思・表) ○まわりの表し方の資料コーナーを参考にしたり試しのコーナーで試したりして、思いに合わせて表し方を選択して工夫することができる。(タンポ・スパッタリング・ローラー・シャボン玉絵の具・パス) (思・表) <p>3 全体交流を行い、自分や友達の表現のよさや課題に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達を表し方や活動のよさを見つけ、気付きを交流しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦図工ノートを見て、自分の表したい世界を確かめさせる。 ㊦自分が表したい思いに合わせて、試しながら画面構成を工夫する活動提案をする。 ◆表したい思いによって版紙の置き方(位置・向き)が変わること ㊦まわりの表し方の資料コーナーや試しのコーナーを設置する。 ◆貼ってからまわりを表すか、周りを表してから貼るかを自分で考えること ◆周りを付け加えることで、さらに表現の幅が広がること ◆どう表現するか思いつかない場合、図工ノートを確認、アイデアを付け加えること ㊦友達の工夫を見つけることで、次時の活動へのめあてや見通しがもてるようにする。 ◆友達の作品の画面構成や周りの工夫のよさを見つけること ◆友達の周りの表現のよさに気付き、自分の表現に生かすこと ㊦図工ノートを見て、最初の考えと照らし合わせて自分の思いがうまく表せているかを振り返る。 ◆自分の思いを表すには、版紙を置く位置や周りの表現を工夫すればよいこと 	<p>見取りたい子どもの姿の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時につかんだ自分の課題を想起し、今日の活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>上の方に版紙を置くと、空を飛んでいるように見えるなあ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いに合わせて、試しながら版紙の置き方を工夫する。 ・図工ノートを見て、表したい思いを確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>版紙を3つ置きたいけど、はみ出すから1つは切って置こうかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・資料コーナーを見たり、試しのコーナーや試し紙で試したりしながら周りの表し方を工夫する。 ・うまくいったところや工夫したところを話しながら鑑賞する。 ・よさをつぶやいたり、じっくり見たりする。 ・友達の版紙のはり方や周りの表し方や活動のよさを発表する。 ・友達の表し方を見て、自分の作品に生かしたいことを見つける。